

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



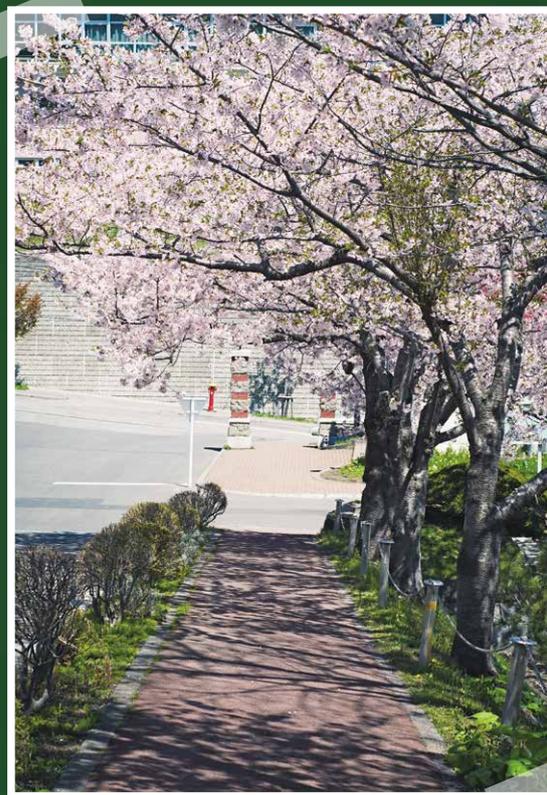
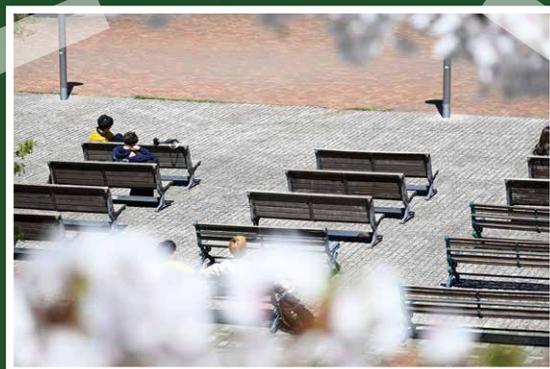
小樽商科大学広報誌

vol.199

2026 SPRING

GAKUEN DAYORI

小樽商科大学 学園だより



● CONTENTS ●

- 新学長挨拶 1
- 小樽商科大学同窓会 緑丘会理事長挨拶 2
- 2025 年度学生生活実態調査 3
- Giving Campaign2025
(本学学生団体への応援イベント) の結果報告 3
- 本学学生が、北海道起業家甲子園で
NICT 賞 (最優秀賞) を受賞しました 4

- キャリア支援センターからのお知らせ 4
- 保健管理センターからのお知らせ 5
- 特別修学支援室からのお知らせ 6
- カルト集団の勧誘被害にご注意ください 6
- 学生を支援する 2 つの基金 (事業報告) について .. 7
- 【令和 8 年 4 月開始】
大学と学生間の通知及び連絡手段について 7

表紙写真協力：小樽商科大学写真部

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学での学びは、高校までの学びとは大きく異なります。そこでは、あらかじめ用意された「正解」を素早く見つけ出すことが求められてきました。しかし大学では、正解のない問いに向き合い、自分なりの答えを探究していくことが求められます。皆さんがこれまで長い時間をかけて積み重ねてきた努力は、単に正解に到達するためではなく、答えの出ない問題に対して、どのように考え、どのように答えを見いだすかを学ぶための土台なのです。

皆さんが生きるこれからの数十年は、おそらく人類史上、先例のない大変革の時代となるでしょう。18世紀のイギリスに始まった産業革命は近代文明を急速に発展させましたが、人々を生産活動から解放することはありませんでした。むしろ生活は、より強く労働と結びついていきました。

ところが20世紀末以降、急速に発達したネットワークシステムと人工知能は、状況を大きく変えつつあります。ネットワーク上に蓄積された膨大な情報が複雑に結びつくことで、人の知識に似たものが生み出され、AIは思考や判断、さらには創造的活動の一部までも担い始めています。「将来AIによって消滅する職業」と言われる中には、かつて高度な知識を持つ人だけの仕事と考えられていたものも含まれています。さらにAIを搭載したロボットは、一般的な労働の領域にも広がっています。

人類が夢見てきた「生きるための労働からの解放」が現実になりつつあるのです。しかしそれは、私たちの幸福な未来を自動的に約束するものではありません。労働からの解放は、言い換えれば、これまで自分の存在意義を見いだしてきた仕事からの追放でもあり得ます。人間にしかできないと信じてきた創造的活動でさえ、AIは巧みに模倣します。このような時代において、人間らしく幸せを追求することは、決して容易ではありません。

だからこそ大学で学ぶ意義があります。大学で学ぶのは「正解」ではありません。場合によっては、唯一の正しい知識ですらありません。大学で本当に身につけてほしいのは、考える方法、ものの見方です。歴史を振り返れば、人類の革新の原動力となったのは、情報の量ではなく、世界の捉え方を変える力でした。AIは過去のデータをもとに未来を予測することはできませんが、自らの視点を転換することはできません。

皆さんには、この四年間で、自分なりのものの見方を徹底的に鍛え、それをさらに更新していく力を身につけてほしいと思います。大学での学びを通じて、自分自身と世界との向き合い方を確立してください。それこそが、AI時代における人間の力であり、皆さんの未来を切り拓く礎となるのです。



第12代 小樽商科大学長
江頭 進

令和8年4月1日

新副学長紹介



学生支援・
リカレント教育・入試担当
副学長

猪口 純路

小樽商科大学商学部卒
神戸大学経営学研究科博士課程後期課程単位修得満期退学
研究分野 / マーケティング論
2015- 大学院商学研究科教授
2022-24 学長補佐
2025- 大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻長
2026- 現職



総務・多様性担当
副学長

國武 英生

北海道大学法学部卒
北海道大学大学院法学研究科民事法専攻修士課程修了
北海道大学大学院法学研究科法政治学専攻博士後期課程単位修得退学
博士(法学)(北海道大学)
研究分野 / 社会法学、労働法学
2017- 商学部教授(企業法学科)
2020 企業法学科長
2026- 附属図書館長
2026- 現職



大学評価・産学官連携・
オープンイノベーション担当
副学長

玉井 健一

松山商科大学経営学部卒
松山大学大学院経営学研究科修士課程修了
広島大学大学院社会科学研究科経済学専攻博士後期課程退学
九州大学経済学府経済システム専攻博士後期課程単位修得退学
博士(経済学)(九州大学)
研究分野 / 組織論、経営学
2010- 大学院商学研究科教授
2022-25 CGS産学官連携推進部門長
2016-18 大学院商学研究科アント
2025- 大学院商学研究科長
レプレナーシップ専攻長
2025- 現職



教育・財務・DX担当
副学長

沼澤 政信

北海道大学工学部情報工学科卒
北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了
北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程修了
研究分野 / 教育工学、人工知能、計算機科学
2016- 商学部教授(社会情報学科)
2019-20 社会情報学科長
2021 学長特別補佐
2022-24 副学長(DX・学術研究)
2022-25 CGS研究支援部門長
2024-25 附属図書館長
2024- DX推進室長、IR室長
2025 副学長
2026- (総務・DX・学術研究) 現職



国際交流・学術研究担当
副学長

松本 朋哉

東京都立大学経済学部経済学科卒
東京都立大学大学院社会科学研究科修士課程修了
米国・南カリフォルニア大学経済学部博士課程修了
Ph.D. (Economics)(南カリフォルニア大学)
研究分野 / 開発経済学
2017- 商学部教授(経済学科)
2018-19 経済学科長
2026- 現職



小樽商科大学新入学生に 対するメッセージ

新入生の皆さん、小樽商科大学への入学おめでとうございます。同窓生を代表して心よりお祝い申し上げます。皆さんがこれから始める大学生活には、多くの出会いと学び、そして自分自身の可能性を広げる無限のチャンスが待っています。

いま私たちが生きる社会は、AIの急速な普及、産業構造の変化、地球規模の課題の深刻化など、未来を読み解くことが難しい時代にあります。こうした環境の中で、大学での学びは単に知識を蓄えるだけではなく、「どう学び、どう社会と向き合うか」と姿勢そのものが問われるようになっていきます。

これからの社会で求められる重要な資質のひとつは、自ら問いを立て、自分の頭で考える力です。正解がひとつに定まらない課題が増える中、課題を見つけ、仮説を立て、他者と意見を交わしながら道を切り開く力こそ、皆さんの価値になります。

また、AIをはじめとする技術が進展する今こそ、人間にしかできない創造性、判断力、倫理観、コミュニケーション力がより求められています。多様な考え方に触れながら、自分自身の軸を築いていってください。

小樽商科大学は、北海道国立大学機構の一員として、社会科学系を中心にしながらも他分野との連携が進み、多様な視点に触れられる環境が広がっています。専門性を磨くだけでなく、分野を越えた学びに挑戦することで、複雑な社会を読み解く広い視野が自然と身につくはずですよ。

大学生活は、皆さんの主体性と探究心が最も輝く時期です。授業、ゼミ、課外活動、地域との関わりなど、挑戦の機会は無数にあります。そのひとつひとつを、自分の未来を形づくる「経験の種」として大切にしてほしいと思います。

最後に、小樽商科大学には小規模だからこそ育まれてきた学生・教職員・同窓生の強い一体感があります。学生生活で培われるこの絆は将来の大きな財産になります。緑丘会も皆さんとのコミュニケーションや支援・協力を惜しむことなく活動してまいります。



公益社団法人 緑丘会
理事長 幸坂 眞也



小樽商科大学同窓会 緑丘会について

小樽商科大学の同窓会である「公益社団法人緑丘会」は、1939年（昭和14年）に法人化され、本部を東京・池袋サンシャイン60ビル57階に置き、全国に24の支部、会員数約4,100名を擁しています。公益財団法人小樽商科大学後援会ともども母校の基盤向上のために、年間2千万円程度の規模で助成事業を行っております。

主な助成事業は次の通りです。

- ①学生の社会人基礎力養成、就業力育成に関する普及、啓発を目的とした「キャリア形成支援企業等セミナー」の主催
- ②正課教育である「エバーグリーン講座」の運営支援、講師選定及び資金助成
- ③グローバルセミナーⅡへの講師派遣
- ④国際的な視野に立つ人材育成を目的とした奨学金給付及びTOEICの受験費用補助
- ⑤就職支援として就職アドバイザーの設置と就職活動資金の貸与
- ⑥留学生等に対する奨学金の助成
- ⑦緑丘祭等への支援

2025年度

学生生活実態調査

本学では学部学生を対象に3年に一度、学生の福利厚生充実及び修学環境の改善を図り学生の多様なニーズに応えるための基礎資料を得ることを目的とした「学生生活実態調査」を行っています。今年度は1,259名の学生から回答があり、その内「大学生生活の満足感」に関して調査した結果を報告します。



本調査報告書は上記QRコードから確認いただけます。

大学での学びや友人関係、私生活等について、満足感を「不満」から「満足」の5段階及び「わからない」から選択してもらった。

※「わからない」と回答した学生の回答は以下グラフから除外している

①授業・講義



②教員の指導やコミュニケーション



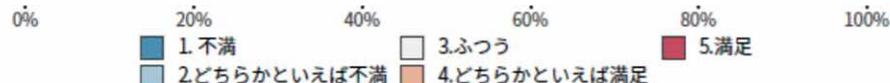
③クラブやサークルなどの課外活動



④大学での人間関係・友人関係



⑤大学以外のプライベートな時間・活動



グラフの説明：100%積み上げ帯グラフで回答の割合を示し、各設問の回答者数を数値で記載している。



Giving Campaign2025

(本学学生団体への応援イベント)の結果報告

2025年度より本学が初めて参加した Giving Campaign2025 (学生団体による資金調達イベント)では、多くの方々からの応援コメント及び寄附をいただき、学生にとって部・サークル活動の大きな励みになると同時に、練習環境の改善や活動範囲の拡充等が図られました。心より感謝申し上げます。

結果報告

2025年度は全国110大学から約2,800の学生団体が参加し、約80万人からの応援投票、個人及び企業から総額約1.6億円もの寄附が集まりました。

本学学生団体に寄せられた応援・寄附の結果を報告します。

	在校生	卒業生	その他(保護者を含む)	企業	合計
応援者数(人)	361	374	5,599		6,334
寄付総額(円)	7,000	364,000	101,000	425,000	897,000

※応援者数は、各学生団体に対する応援投票いただいた人数であり、寄附者数とは異なります。

本学は2026年度開催の Giving Campaign2026 (10/16 (金)～10/25 (日))の10日間限定で公開される特設サイトから応援・寄附が可能)に参加いたします。お子様が本学で充実した学生生活を送られておりますことは、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物と、深く感謝申し上げますとともに、引続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます。



Giving Campaignについて詳しく知りたい方は、左記QRコードから前回号を是非チェックしてみてください。



本学学生が、北海道起業家甲子園で NICT賞（最優秀賞）を受賞しました

このたび、2025年11月29日に開催された「北海道起業家甲子園2025」で、本学商学部グローバルコース1年の山口春菜さんがNICT賞(最優秀賞)を受賞しました。

北海道起業家甲子園は、総務省および情報通信研究機構(NICT)が主催する全国規模のビジネスプラン発表会「起業家甲子園」の連携大会で、ICT(情報通信技術)を活用した革新的なビジネスアイデアを持つ学生や若手人材を対象に、地域課題の解決や新しいサービス創出を目指すプランを競うビジネスコンテストです。

2025年度は、書類選考を勝ち抜いた9チームが大会に参加し、「ラップ(音楽)で認知症予防を推進するアプリ」を発表したチーム「team haruna yamaguchi」がNICT賞(最優秀賞)を受賞し、2026年2月の米国・シリコンバレー研修への参加権と2026年3月10日に行われる全国起業家甲子園への出場権を獲得しました。



キャリア支援センターからのお知らせ

キャリア支援センターでは、学生のみさんの就職活動がスムーズに進むよう、様々な就職活動支援を行っています。

○就職活動に関する情報発信

manaba「キャリア支援センター」コースや商大生向け就職情報・キャリア支援サイト「キャリアタス UC」にて、イベント案内や企業説明会、求人に関する情報を掲載しています。

○資料・図書の貸出

SPIなどのテスト対策本やマナー本といった実用書を中心に、就職関連の図書の貸し出しを行っています。また、OB・OG名簿や企業研究に役立つ四季報などの資料を閲覧することもできます。

○就職相談

専門の就職アドバイザー及びキャリアカウンセラーが就職相談に応じます。Zoomを利用した遠隔相談も可能です。相談内容は、「就職活動の流れ」、「自己分析・自己理解」、「業界・職種選択」、「書類(ES等)の添削」、「面接対策(模擬面接等)」、「内定辞退・内定先絞込み」など多岐にわたります。

上記の他に、緑丘企業等セミナー(学内合同企業説明会)や就職ガイダンスなどの就職支援イベントも実施しております。

就職活動支援は学年を問わず行ってまいりますので、各種支援を活用し、納得のいく就職活動につなげてください。



よく眠れていますか？

皆さんの睡眠時間はどのくらいですか。
朝起きたときに「よく眠れた、疲れがとれた」という感覚はありますか。

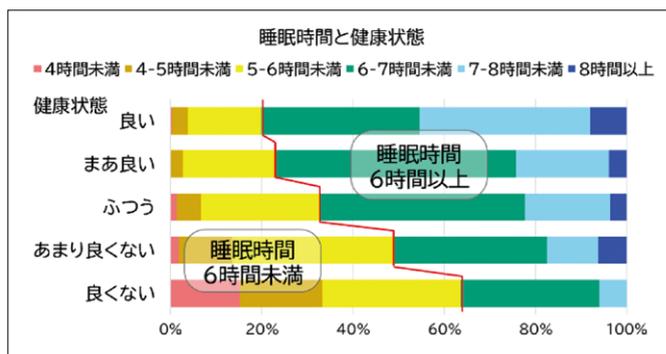


量(時間)を確保する：必要な睡眠時間は6時間以上

個人差はありますが、成人は6時間以上を目安として必要な睡眠時間を確保することが推奨されています。良い睡眠は脳や心血管、免疫などの身体的な健康ばかりではなく、精神的な健康の維持・増進に重要な役割を持っています。また、日中の活動で生じた脳を含む身体の疲労の回復の役割や記憶の定着の機能もあり、効果的な学習にも睡眠は重要です。

学生の睡眠時間

2025年度の学生生活実態調査では、3割の学生が平均の睡眠時間が6時間未満と回答していました。1、2年生でその割合が高く、2年生では4割の学生が睡眠時間6時間未満でした。健康状態との関係でみると、健康状態が「良い」と答えた人の8割が6時間以上の睡眠時間だったのに対して、「良くない」と答えた人の4割弱しか6時間以上の睡眠をとれていません。この調査からも睡眠が健康状態に密接に関係している、ということが分かります。また、通学時間が長くなるほど睡眠時間が短くなる傾向も見えています。通学環境などから睡眠時間の確保が難しいという人もいるようです。



質の確保：睡眠休養感を高める

睡眠休養感は睡眠の質を表しています。睡眠で休養が取れている感覚です。睡眠休養感が、心血管疾患や糖尿病などの身体の疾患に関連しているだけでなく、こころの健康にも影響を与えていることが示されています。質の良い睡眠のためには、睡眠環境、生活習慣を見直していく必要があります。

睡眠環境：寝室の環境整備を

- 光の環境：**朝は日の光を浴びて脳を覚醒させましょう。寝る前のスマートフォンの光は避けましょう。
- 温度の環境：**寝室の温度は睡眠に影響します。夏はできるだけ涼しくしましょう。冬は寝床内が暖かければ室温は睡眠への影響は少ないとされていますが、あまり寒いと起床時に血圧が上がってしまうこともありますので、WHO では室温を18℃以上にすることを推奨しています。

眠れない：不調や悩みは相談を

睡眠の不調にはストレスやこころの健康状態が原因となっていることがあります。心配事が多くて眠れない、などの時は専門家に相談しましょう。学生何でも相談室で話を聞いてもらうことも一つの方法です。

参考文献：健康づくりのための睡眠ガイド2023

学生何でも相談室はさまざまな悩みをカウンセラーに相談できる場所です

学生何でも相談室には心理カウンセラーがおり、学生生活上の悩みにアドバイスを行います。相談内容は、自分の性格に関すること、友人関係や恋愛関係に関すること、部活・サークルに関すること、アルバイトに関すること、学習・進路に関することなど多様です。悩みの解決のための選択肢のひとつとして、気軽にご利用ください。

●利用した学生の声の例

- ・ひとりではないと感じました
- ・ストレスとのつき合い方を学ぶことができました
- ・卒業後の進路についてさまざまな角度から考えることができました
- ・自分をふりかえるきっかけになりました

複数の感想をまとめたものです



学生何でも相談室（3号館4階）

電話：0134-27-5241 メール：soudan@office.otaru-uc.ac.jp
URL：https://www.otaru-uc.ac.jp/student/counselling/

特別修学支援室では どのような支援が受けられるのでしょうか

保健管理センター内にある特別修学支援室では、障がい(身体障がい、精神障がい、発達障がい、持病等)のある学生に対し、修学上の支援を行っています。

最初に学生と面談を行い、学生生活における「困り感」(大学生活において何に困っているのか、どのように困っているのか)を確認し、授業担当教員や学内他部署と協議を行って具体的な配慮内容を決定します。これまでに提供された配慮として次のようなものがあります。

身体障がいのある学生への支援の一例

- ・体調不良時の途中退室を許可する
- ・教室移動に時間がかかることが予想される場合、遅刻して入室することを許可する
- ・定期試験時に拡大した試験問題・解答用紙の使用を許可する

慢性疾患等のある学生への支援の一例

- ・授業の録音、授業スライドの撮影を許可する
- ・定期試験の時間延長とその際に別室で受験することを許可する
- ・体調不良が続いた場合、レポートの提出期限の延長を許可する

発達障がいのある学生への支援の一例

- ・授業の録音、授業スライドの撮影を許可する
- ・ゼミ担当教員に対し、障がい特性について情報提供を行う
- ・外部の就労支援施設(北海道障害者職業センター、障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク等)と連携し、就労に向けた支援を行う

修学支援に関する相談は随時、受けつけています。相談申し込みは特別修学支援室に直接いらっしゃるか、メールでお問い合わせください。

特別修学支援室 (3号館4階)

電話：0134-27-5241 メール：soudan@office.otaru-uc.jp



カルト集団の勧誘被害にご注意ください

近年、全国の大学で宗教団体の勧誘にまつわるトラブルが発生しています。そのなかには、カルト集団と目される団体もあります。彼らは正体を隠して、ボランティアサークル等のダミーサークルを名乗り、純真な学生に巧みに近づいてきます。本人は気がつかないうちにマインドコントロールされ、団体の活動に生活の中心が移り、学生生活が次第に破綻していきます。

本学でも、カルト集団等の被害を見聞きしたことがある、勧誘を受けたことがあるという学生が多いという調査結果があります。

怪しいと思われる団体の勧誘を受けたときは、はっきりと断ること、トラブルを防ぐには絶対に個人情報を教えないことが大切です。そして、「おかしい」「怪しい」と思ったら大学に早めに相談・問合せをしてください。

大学の 相談窓口

・学生何でも相談室

HP から相談予約を受け付けています。

HP：

<https://www.otaru-uc.ac.jp/student/counselling/>



・学生支援課学生支援係

緊急時は学生センター窓口へ駆け込んでください。

お問い合わせフォームも設置しています。

在学生・卒業生等 お問い合わせフォーム
<https://www.otaru-uc.ac.jp/>

[inquiry/form/](https://www.otaru-uc.ac.jp/inquiry/form/)



学生を支援する2つの基金（事業報告）について

修学支援基金及び教育振興基金への温かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。皆様からお預かりいたしましたご寄附は、令和7年度において学生の諸活動支援のため、以下の事業を実施し、有効に活用させていただいております。

今後とも修学をはじめとした学生の成長サポートにつきまして、より一層のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附をご検討いただける場合は、以下のWebサイトに詳細とお申し込み方法を記載しておりますので、ご確認いただきお手続きいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

小樽商科大学寄附金サイト <https://kifu.otaru-uc.ac.jp/>

修学支援基金 <https://kifu.otaru-uc.ac.jp/scholarship/>

経済的な理由により修学が困難な学生に財政的な支援を行い、社会の指導的役割を果たす品格ある人材の輩出に資することを目的としています。

◆令和7年度事業

事業名	金額
授業料免除特別枠事業 「本学独自の授業料免除制度」に申請し不許可となった学生や「高等教育の修学支援新制度」の支援対象外の学生に対し、本基金による「特別枠」として授業料の3分の1を免除する事業です。 令和7年度は16名(前期9名、後期7名)の授業料免除を実施しました。	1,249,800円

教育振興基金 <https://kifu.otaru-uc.ac.jp/education/>

2011年度の創立百周年を機に創設した基金で、学生の自由闊達な活動を積極的に支援することを目的としています。

学習環境の向上のため電子書籍などの充実、語学力向上に資するTOEFL受験料の補助、海外協定校への交換留学に要する費用の一部支援、留学中における安全・安心を支える危機管理サポートサービスの提供などを行っています。

◆令和7年度事業

事業名	金額(見込額)
(1) 学生の正課・課外活動への支援事業	
1. 電子書籍及び冊子体書籍購入	300,000円
(2) 学生の国際交流活動への支援事業	
1. TOEFL 受験料補助	400,000円
2. 交換留学等の派遣学生に対する奨学金支援	820,000円
3. 海外留学危機管理サポートサービス	350,000円
(3) その他基金の目的達成に必要な事業	600,000円

※事業実績額は令和7年度の決算後にホームページ等でお知らせします。

【令和8年4月開始】大学と学生間の通知及び連絡手段について

令和8年4月から、情報漏洩リスクを最大限に低減するとともに、学生の個人情報保護の徹底を図ることを目的として、大学と学生間の通知及び連絡手段を、大学が発行した公式メールアドレスに統一し、運用いたします。学生の皆様には、メールやmanaba等で既にご案内しておりますので、必ずご確認ください。

